

工場概要



日立コンクリート株式会社
新砂工場

日本工業規格適合性認証工場

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目11番18号
TEL (03) 5634-4711
FAX (03) 5634-4712

目 次

1. 工場概要
2. 工場設備概要
3. 主要原材料の銘柄及び産地
4. 品質管理の概要
5. 工場組織図
6. 生コンクリート製造作業工程図
7. 工場配置図
8. 工場位置図
9. 日本工業規格適合性認証書
10. 圧縮一軸試験機校正証明書
11. 品質管理監査合格証
12. 建築基準法第37条第二号の認定に係わる
性能評価認定書
13. 品質管理責任者証書

1. 工場概要

(1) 工場名	日立コンクリート株式会社 新砂工場
(2) 工場所在地	東京都江東区新砂3丁目11番18号
(3) 工場操業開始日	平成26年2月
(4) JIS認証日	平成26年7月4日
(5) 認証に係わる日本工業規格の番号及び名称	JIS A 5308 レディーミクストコンクリート
(6) 認証の区分	普通コンクリート
(7) 建築基準法第37条第二号の認定に係わる性能評価	高強度コンクリート:MCON-3417 普通Fc39~60、中庸熱Fc39~80、低熱Fc39~80

2. 工場設備概要

(1) バッチャープラント

製作会社	光洋機械産業株式会社
操作方法	BIT-MAXシステムコンピューター制御
ミキサ	2軸強制練りミキサ (TWS3250N) × 2基
容量	3,250ℓ × 2基
製造能力	公称能力200m ³ /h × 2基
計量装置	KYC製ロードセル秤パーソナルコンピューター制御方式
貯蔵ビン	セメント 5 × 2、粗骨材 3 × 2、細骨材 4 × 2 混和剤 10 × 2、水 2 × 2

(2) セメント貯蔵輸送設備

セメントサイロ	普通セメント	400t	1基
	高炉セメントB種	200t	1基
	低熱セメント	200t	1基
	早強セメント	200t	1基
	中庸熱セメント	200t	1基
	セメント受入設備	空気圧送設備	
セメント引出設備	受入バグフィルター		
	空気圧送設備	90t/h × 5系統	1式
	ルーツプロア	90t/h	2基
	ロータリーフィーダ	90t/h	10基
セメント供給制御装置	BIT-MAX組込LCD表示		1面

(3) 骨材貯蔵輸送設備

骨材サイロ(循環装置付)	粗骨材	608m ³ (1000t)	3基
	細骨材	608m ³ (1000t)	4基
骨材受入設備	受入ホッパ(ダンプ用)	15m ³	1基
	受入ホッパ(船用)	30m ³	1基
	ベルトコンベア	650t/h	5基
骨材引出設備	ベルトコンベア	650t/h	6基
骨材供給制御装置	BIT-MAX組込LCD表示		1面

- (4) 給水設備
- | | | | |
|-----|----------|------|----|
| 貯水槽 | 工業用水 | 300t | 1基 |
| | 回収水(上澄水) | 129t | 2基 |
- (5) 試験設備
- | | | |
|-------------------|---|----|
| 品質管理用コンピューター | Liberty Examiner | 4台 |
| 試験室 | 103.44m ² | |
| 供試体養生水槽(20±2°C) | 13.02m ² (15.624m ³) | |
| 試験練り用ミキサ(2軸強制攪拌型) | 60ℓ | 1基 |
| 圧縮強度試験機(一軸油圧式堅型) | 3000kN | 1基 |
| その他試験器具 | | 1式 |
| 試験サービス車 | | 2台 |
| 塩化物量測定器 | ソルメイト-100/V | 1台 |
- (6) 付属設備及び機器
- | | | |
|----------------|---------|----|
| 表面水自動測定装置(RI法) | | 2式 |
| 受変電設備 | | 1式 |
| トラックスケール | 秤量60t | 1式 |
| 洗車設備 | 5台同時 | 1式 |
| 公害設備(排水中和装置) | 全自動PH調整 | 1式 |
- (7) 回収水脱水設備
- | | |
|------------------------|----|
| 谷井式高速脱水装置(TDK-400ASWD) | 1基 |
|------------------------|----|
- (8) レディーミクストコンクリート運搬設備
- トラックアジテータ車 全車無線・GPS装備

(9) 計量装置内訳

名称	素子	仕様	秤量(kg)	最小(kg)	製造会社	
計量器	セメント	C1~C3	切替	2500	2	光洋機械産業(株)
		C4~C5	切替	2000	2	
	砂利	G1~G2	累加	3500	5	
		G3	個別	3500	5	
	砂	S1~S2	累加	3000	5	
		S3~S4	累加	3000	5	
	水	W1~W2	累加	750	1	
	混和剤	A1~A4	切替	25	0.05	
		A5~A10	切替	50	0.05	
A11		個別	20	0.02		
操作盤	BIT-MAXシステムコンピュータ制御 容量変更装置(1.0~3.25m ³)			1式	光洋機械産業(株)	
印字記録装置	パーソナルプリンタ			1台		
出荷管理装置	オンラインシステム			1台	パシフィックテクノス(株)	

3. 主要原材料の銘柄及び産地

品名	銘柄	産地・メーカー	
セメント	普通ポルトランドセメント	日立セメント(株)	
	高炉セメントB種	日立セメント(株)	
	早強ポルトランドセメント	太平洋セメント(株)	
	中庸熟ポルトランドセメント	太平洋セメント(株)	
	低熟ポルトランドセメント	太平洋セメント(株)	
粗骨材	石灰砕石(2005)	栃木県佐野市仙波町	
	石灰砕石(2005)	北海道北斗市寝朗	
細骨材	山砂	千葉県富津市鶴岡	
	山砂	千葉県君津市吉野	
	石灰砕砂	栃木県佐野市仙波町	
混和剤	AE剤	マスターエア202	ポゾリスソリューションズ(株)
	AE減水剤	マスターポリヒード15S(15SR)	ポゾリスソリューションズ(株)
		シーカメントJ(JR)	日本シーカ(株)
		ヤマソー02NL(02NLR)	山宗化学(株)
		チューポールEX20(NR20)	竹本油脂(株)
	高性能 AE減水剤	マスターグレニウムSP8SV(8RV)	ポゾリスソリューションズ(株)
		シーカメント1100NT(NTR)	日本シーカ(株)
		フローリックSF500S(R)	(株)フローリック
		マイテイ3000S(R)	花王(株)
		チューポールHP-11(11R)	竹本油脂(株)

4. 品質管理の概要

(1)受入れ検査

資材名	検査項目	検査方法・頻度	備考
1)セメント	(1)品質	(1)メーカーの成績表(1回/月)	
2)骨材	(2)圧縮強さ	(2)外部試験(1回/6ヵ月)	
	(1)外観	(1)入荷の都度目視	
	(2)品質		
	a.密度] 精密検査(1回/月)	*山砂の場合1回/週
	b.吸水率		
	c.粗粒率		
	d.単位容積質量		
	e.粘土塊		
	f.微粒分量*		
	g.実積率		
	h.有機不純物] 外部試験(1回/12ヵ月)	
	i.安定性		
	j.塩化物量		
	k.すりへり減量		
3)水	l.アルカリ骨材反応	モルタルパー法(1回/6ヵ月)	上水道水は、特に試験を行わなくても用いることができる。
	品質	外部試験(1回/12ヵ月)	
4)化学混和剤	品質	メーカーの成績表(1回/6ヵ月)	

(2)工程検査

工程	検査項目	検査方法・頻度	備考
1)骨材	(1)粗骨材	1回/週 目視(2回/日) 精密検査(1回/月)	
	a.実積率		
	b.表面水率		
	(2)細骨材	2回以上/日	
	a.表面水率		
	b.粗粒率	1回/日	
2)練り混ぜ	a.スランプ	目視検査(毎バッチ) 工程検査(3回/日)	
	b.空気量	3回/日	
	c.容積	目視検査(毎バッチ)	
	d.圧縮強度	1回/日	
	e.コンクリート温度	3回/日	
	f.単位水量	1回/日	
	g.塩化物含有量	1回/月	

S-5

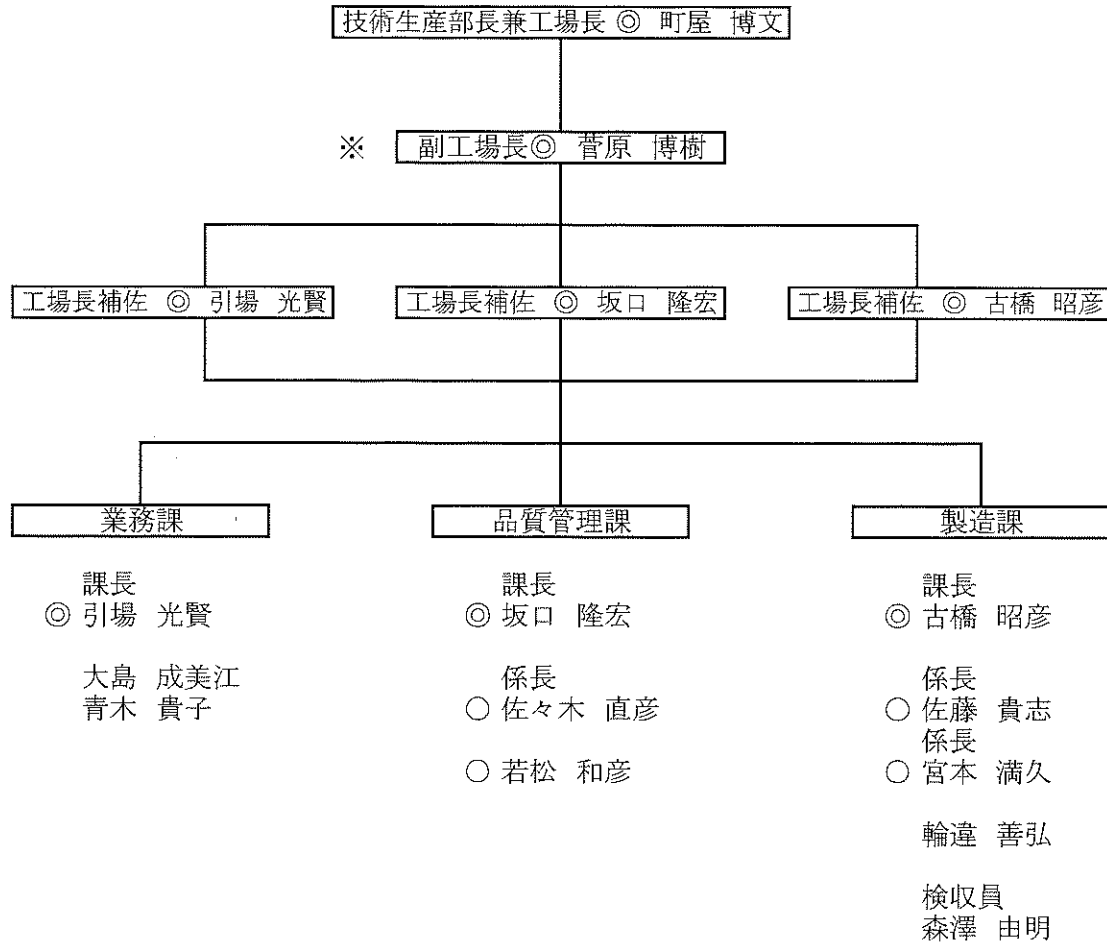
(3)設備

機器名	管理項目	検査方法・頻度	備考
1)計量器	(1)静荷重検査 (2)動荷重検査 (3)表面水補正装置 (4)容積変換装置 (5)ミキサタイマー	外部依頼(1回/6ヵ月) 定期点検(1回/月) 定期点検(1回/6ヵ月) 定期点検(1回/6ヵ月) 定期点検(1回/6ヵ月)	
2)プラントミキサ	練り混ぜ性能試験	定期点検(1回/12ヵ月)	
3)運搬車	アジテータドラム 性能試験	定期点検(1回/3年)	

(4)製品検査

検査項目	頻度	管理基準	備考
1)スランプ	普通コンクリート (1回/150m ³)	8cm以上18cm以下±2.5cm 21cm±1.5cm [*]	[*] 呼び強度27以上で、高性能 AE減水剤を使用する場合は ±2cm
3)空気量	同上	普通コンクリート 4.5±1.5% 指定した値±1.5%	
4)圧縮強度	同上	1回の試験結果は呼び強度の85%以上 3回の試験結果の平均値は呼び強度以上	
5)温度	同上	5~38℃	
6)容積	1回/月	納入書記載容積以上	
7)塩化物量	1回/月	0.30kg/m ³ 以下	

日立コンクリート(株)生産部新砂工場組織図



※印は、品質管理責任者
 ◎印は、日本コンクリート工学会認定のコンクリート主任技士
 ○印は、日本コンクリート工学会認定のコンクリート技士

(特記事項)

本社 東京都豊島区高田3丁目31番5号
 TEL 03-3984-4147(代)

新砂工場 東京都江東区新砂3-11-18

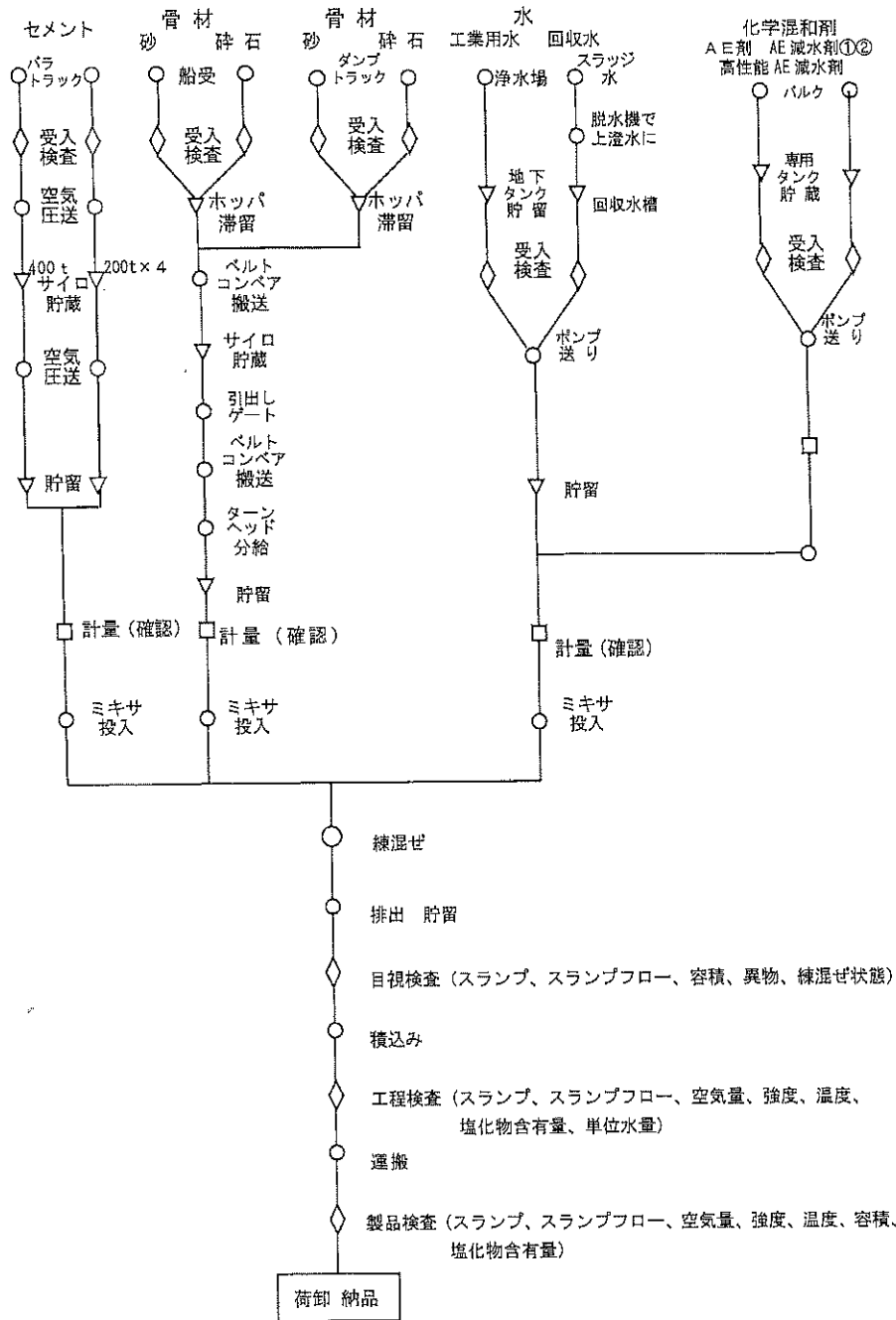
TEL 03-5634-4711(代)
 FAX 03-5634-4712

(当日出荷直通) TEL 03-5634-4741

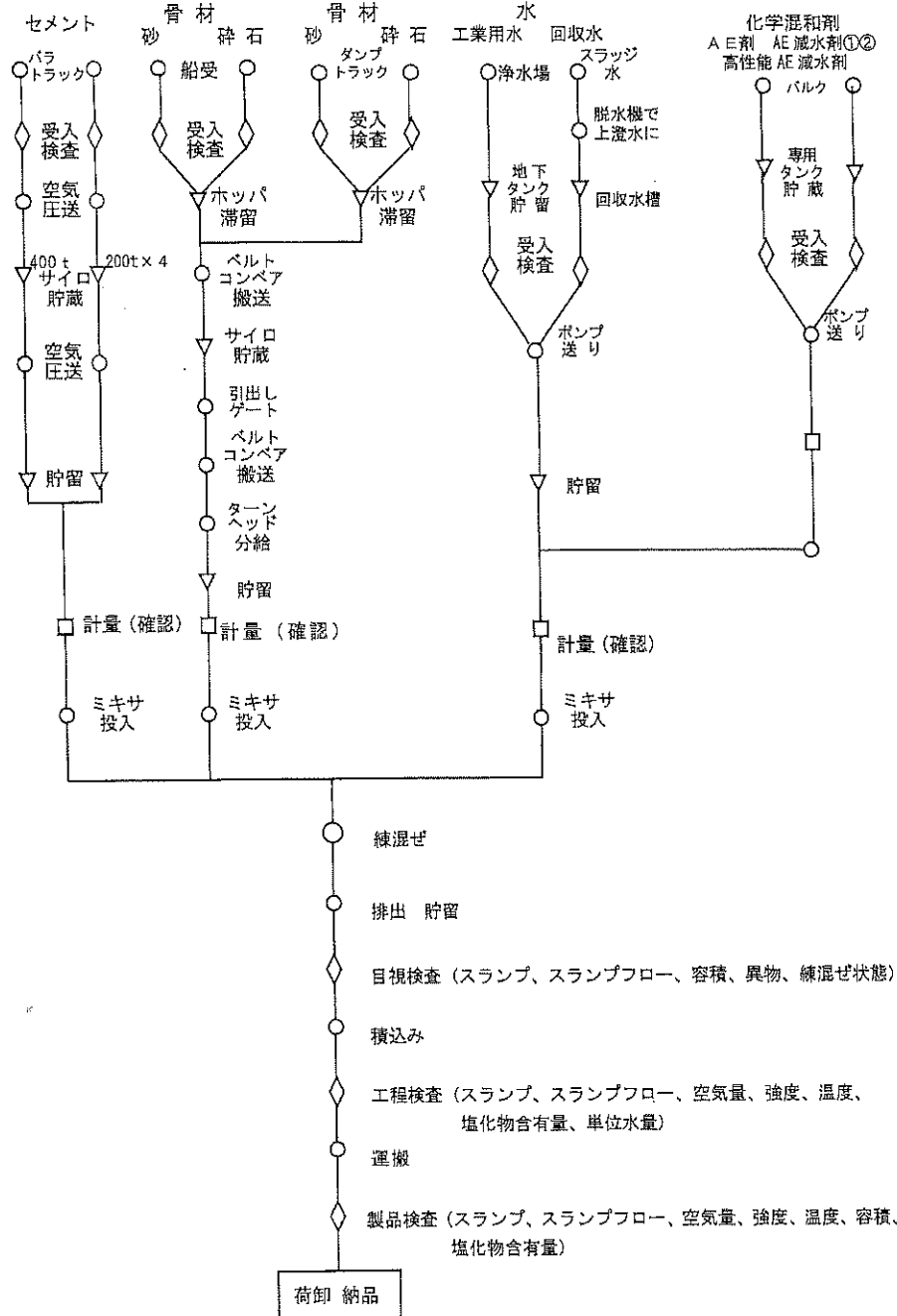
納入予定は、東京協組出荷センターへお願い致します。

担当者 小川 修
 TEL 03-3271-2185

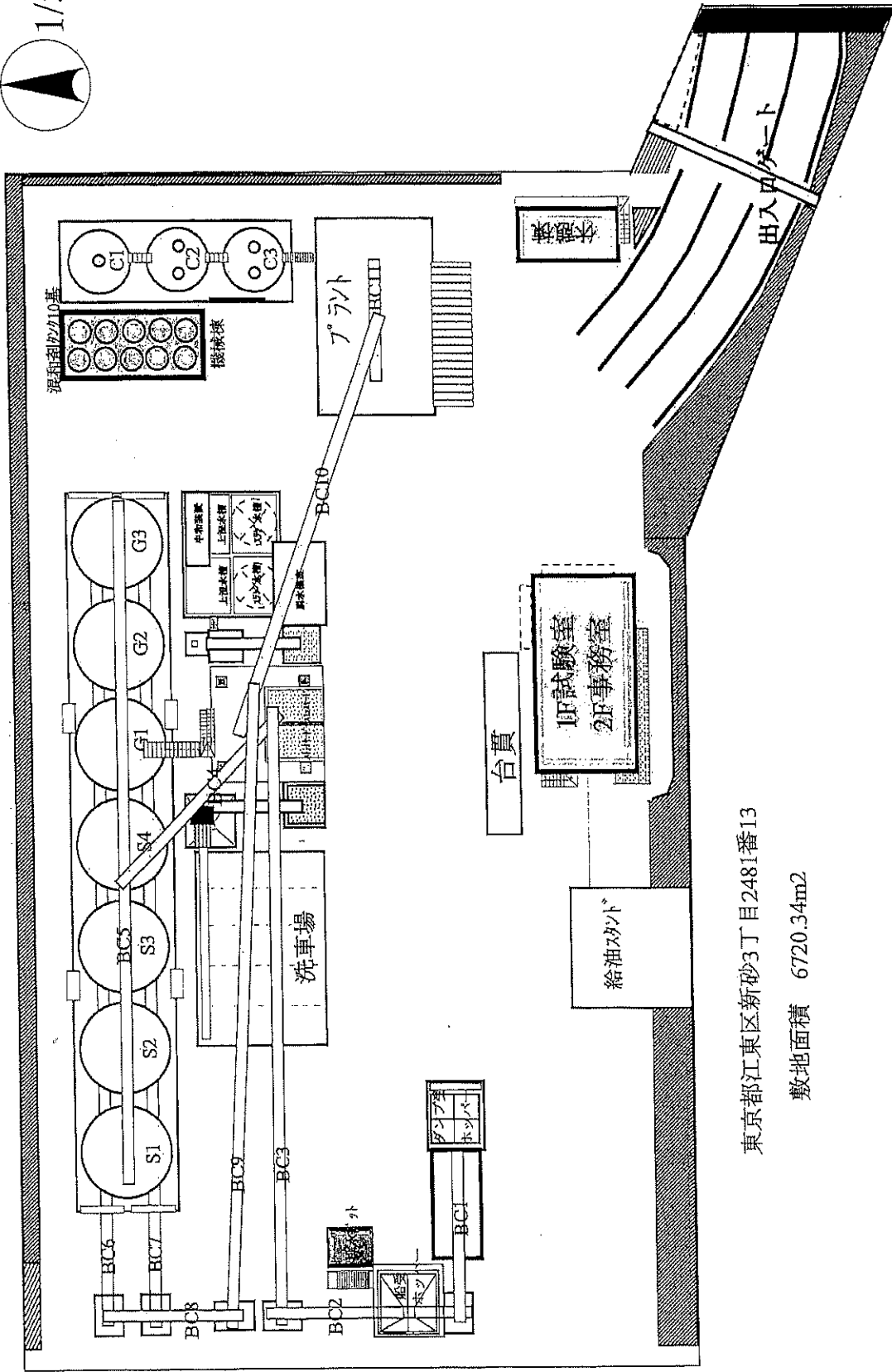
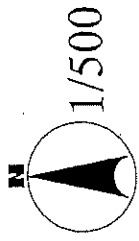
生コンクリート製造作業工程図Aプラント



生コンクリート製造作業工程図Bプラント



日立コンクリート株式会社 新砂工場配置図



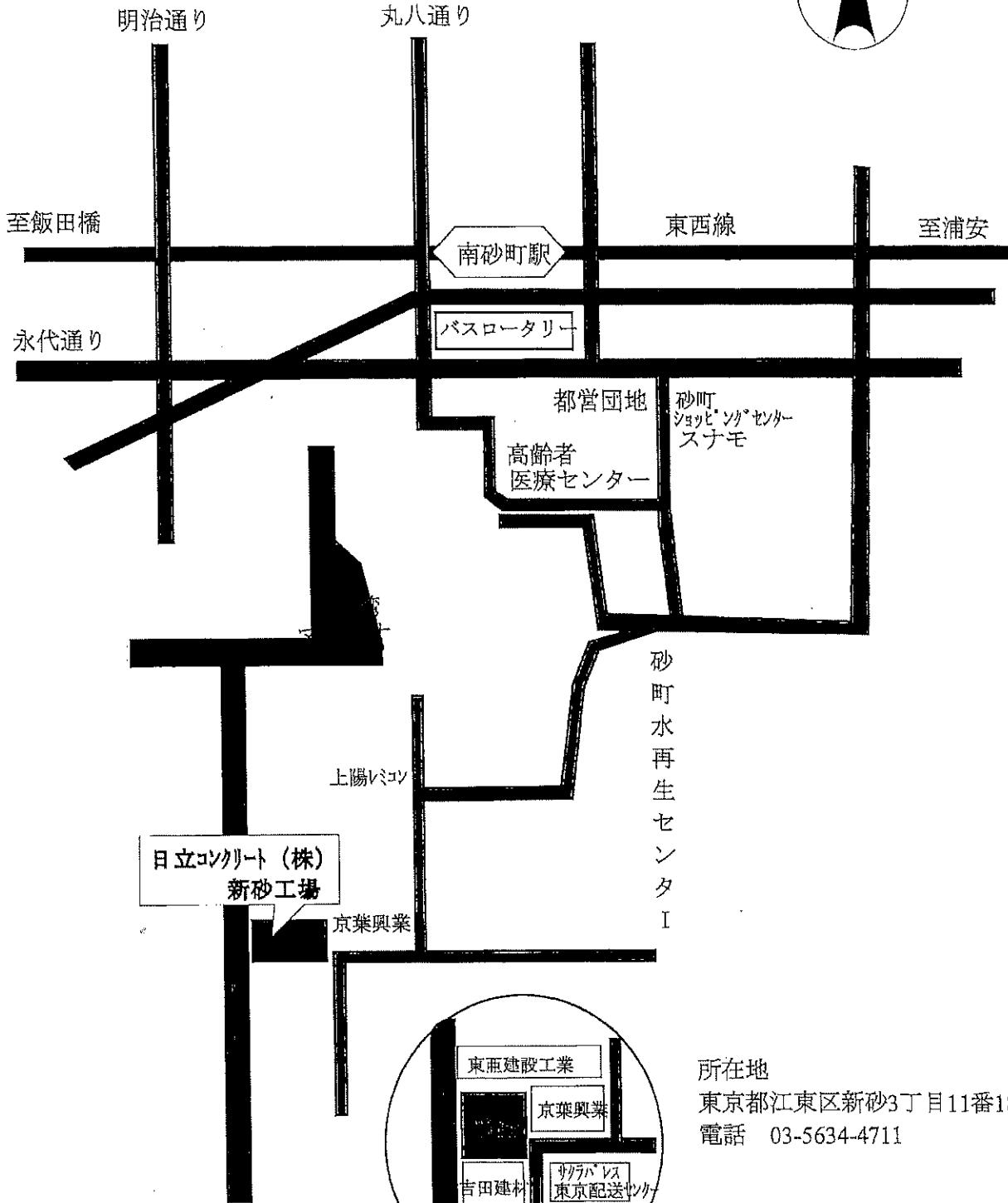
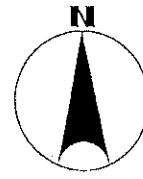
砂町北運河

東京都江東区新砂3丁目2481番13

敷地面積 6720.34m²

日立コンクリート株式会社

新砂工場 位置図



所在地
東京都江東区新砂3丁目11番18
電話 03-5634-4711

発効日：2020年7月4日



Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書

日立コンクリート株式会社 殿

産業標準化法第30条第1項に基づき、下記のとおり
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認 証 番 号：TC0314003

認証取得者の氏名及び名称：日立コンクリート株式会社
住 所：東京都豊島区高田三丁目31番5号

鉱工業品の名称：レディーミクストコンクリート

認証に係るJIS番号：JIS A 5308

認 証 の 区 分：普通コンクリート

工場及び事業所の名称：日立コンクリート株式会社 新砂工場
所 在 地：東京都江東区新砂3丁目11番18号

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については
日本産業規格適合性認証書附属書による。

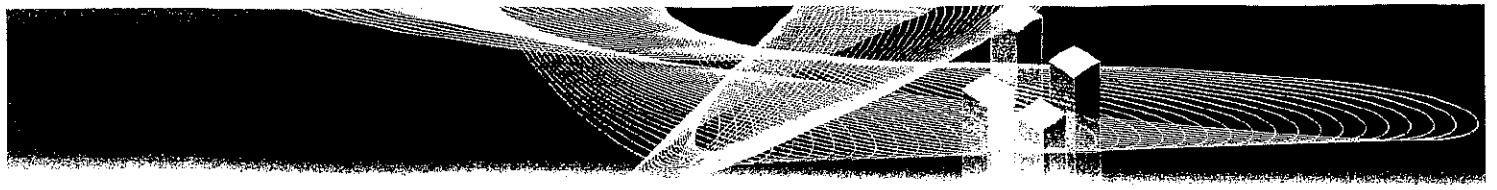
認 証 契 約 日：2014年7月4日
有 効 期 限：2023年7月3日



一般財団法人 **建材試験センター**
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町二丁目8番4号

理事長 **福水健文**





Annex to Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書附属書

(認証番号:TC0314003)

認証の範囲(種類又は等級) :

コンクリートの種類	粗骨材の最大寸法 (mm)	スラブ cm	呼び強度									
			18	21	24	27	30	33	36	40	42	45
普通コンクリート	20	8,10,12, 15,18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		21	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

認証マーク等の表示 :

- 1) 認証マークは、単色とし直径 10mm 以上の大きさで表示する。
- 2) 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称及び認証番号として、「TC0314003」を表示する。

付記事項の表示 : 鋳工業品等には次の事項を表示する。

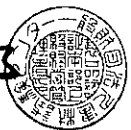
- 適合する JIS で定める表示事項
- ・認証取得者(製造業者)の名称
 - ・製造工場名

表示の方法 :

- 1) 認証マーク等は、1運搬車ごとにレディーミクストコンクリートの納入書に印刷する。
- 2) 容易に消えない方法による。

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者

丸山 慶一郎



2020年2月25日

日立コンクリート株式会社
代表取締役副社長 岡田 明 殿

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者 丸山 慶一郎



JIS マーク表示製品認証に係る定期認証維持審査の判定結果通知書

認証番号 TC0314003 の JIS マーク表示製品認証に係る定期認証維持審査の判定結果を通知いたします。

記

1. 鉱工業品又はその加工技術の工場又は事業場の名称
日立コンクリート株式会社 新砂工場
2. 鉱工業品又はその加工技術の名称
JIS A 5308 レディーミクストコンクリート
3. 工場又は事業場の品質管理体制の基準
基準 A
4. 判定結果
厳正なる審査の結果、認証継続が決定しました。
5. 次回の定期認証維持審査の受審期限
2023年7月3日
6. 認証の維持について
事業者におかれましては、日々の品質管理に努められるとともに、今後とも定期的な認証維持審査（3年ごとに1回以上）を受審くださるようお願い致します。



JCSS
JCSS 0128

総数 5 頁の 1 頁
校正証明書番号 T2017770

校正証明書

(校正ラベル)

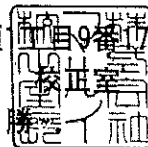
T2017770
JCSS 0128
MRA/IAJapan
20-01

依頼者名	日立コンクリート 株式会社 新砂工場
依頼者住所	東京都江東区新砂3-11-18
計量器の設置場所	同上
計量器の名称	一軸試験機
型式	油圧式堅型 型名 Hi-ACTIS 3000
能力	圧縮 : 3000 kN
製造番号	F13J10
製造日	2014年1月
製造者	株式会社 マルイ
力指示計	デジタル表示
校正レンジ	圧縮 150, 300, 600, 1500, 3000 kN
センサー容量	20 MPa
センサー型式	HVS-20MPA 製造番号 M306403
校正方法	JIS B 7721:2018 による
実施条件	2頁のとおり
トランスファ標準器	3頁のとおり
校正結果	4~5頁のとおり
校正年月日	2020年1月23日

校正結果は以上のとおりであることを証明する

2020年1月27日

大阪府大東市御領 町目9番17号
株式会社 マルイ
校正室長 大仁



工場長	QCM	副工場長	工場長代理	工場長補佐	工場長補佐	係長	係
町屋	菅原 QCM	菅原	佐条	引場	坂口	坂口	若松

- ・この証明書は、計量法第144条(第1項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
- ・当社は、ISO/IEC 17025:2017に適合しています。
- ・この証明書は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAG(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APAGのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。
- ・校正ラベルは校正証明書の一部の情報を校正品に表示することで、校正の状況をわかりやすくするためのものです。





JCSS

JCSS 0128

総数 5 頁の 2 頁
校正証明書番号 T1916010

校正の実施条件

- 1) 一軸試験機の校正は、3頁に記載した圧縮用力計をトランスファ標準器として用い、一軸試験機のカ伝達系を含む力測定系全体に圧縮力を作用させて実施した。
- 2) 予備負荷の回数は3回である。
- 3) 力計の位置を変更せずに実施した。
- 4) 校正を行なう最小レンジでは、ピストン位置を以下のように変更して実施した。
有効ストロークの 10 %、30 %、50 %
- 5) 予備負荷及び各負荷サイクル間の待機時間は、最大5分である。
- 6) 内挿校正式が無い力計の時は、負荷が力計の校正値に達すると同時に一軸試験機の指示値を測定し、内挿校正式がある力計の時は、負荷が試験力に達すると同時に力計の指示値を測定した。
- 7) 一軸試験機及び校正に必要な機器等は、校正を始める1時間前からすべての校正が終了するまで連続した通電が行なわれた。
- 8) 校正実施場所の温度は18.8~21.1℃であり、各測定シリーズを校正中の温度変動は2℃以内であった。湿度は19±10%、気圧は1015 hPaであった。
- 9) 一般検査において異常は認められなかった。
- 10) 修理・調整前のデータに問題はなかった。



品質管理監査合格証

日立コンクリート株式会社

新砂工場 殿

貴工場は東京都生コンクリート品質管理監査
会議が令和元年度に実施した立入監査の結果
全国統一品質管理監査基準に適合しているもの
と判定しここに合格証を交付する

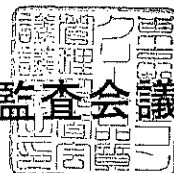
記

有効期間 自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

令和元年12月 4日

東京都生コンクリート品質管理監査会議

議長 早川光 敬

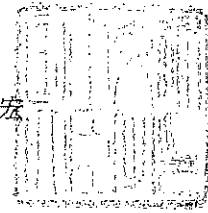


認 定 書

国住指第 1401 号
平成 27 年 7 月 29 日

日立コンクリート株式会社 新砂工場
代表取締役副社長 岡田 明 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 37 条第二号の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
MCON-3417
2. 認定をした構造方法等の名称
高強度コンクリート
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。



NJ-QMR-1-36-29

修了証書

菅原 博樹 殿

日本規格協会主催のJIS
品質管理責任者セミナー
(専修科コース)を修了したこと
を証する

平成24年 12月21日

一般財団法人 日本規格協会

理事長 田中正

